

# 独自の取組

## 1 住民会議

### 事業レビュー

内容

- 町民がまちの事業を評価する取り組みを行っています。(国の事業仕分けでは、外部有識者が事業を評価しますが、琴浦町の事業レビューは町民自らが事業を評価します)
- これまで行政内部、議会、有識者などが行ってきた事業評価を町民目線で町民自身が行います。行政の仕事への関心を生み、より良いまちにするための住民目線の意見をいただきます。
- 町民の評価を受けて、行政は事業の見直しの方針を作成し、翌年度以降の事業(予算)に反映させていきます。

実施方法

- 事業レビューに参加する町民(町民評価員)の募集は、「無作為抽出方式※」を採用しています。(この手法は、鳥取県では琴浦町だけの取り組みです)
- この無作為抽出方式の特徴は、これまでの公募方式と異なり、行政との関わりが少ない住民が参加しやすくなることで、行政が多様な住民の声を聴く機会となります。
- この事業レビュー終了後も、無作為抽出によりご参加いただいた町民の中から行政改革推進委員会の委員として、継続して行政の取り組みにご協力をいただいています。

開催事例

- 平成30年度 公共施設レビュー
- 令和元~3年度 事業レビュー



※無作為抽出方式:住民基本台帳から無作為に抽出した住民に案内を送り、その中から応募のあった住民に参加いただく手法。これまで行政との接点が多かった住民の意見をいただけるほか、参加後も税金の使い方に関心が高まり、行政に関わりを持っていただくことも期待されます。

琴浦町では、住民とまちの現状や課題を共有し、住民と行政が一緒になってまちづくりを進めていくため、さまざまな住民会議を行っています。  
また、自治体を越えた職員研修や若手職員によるプロジェクトチームの活動など職員の人材育成にも力を入れています。

### 自分ごと化会議

内容

町の現状と課題を町民と共有し、町民自らがまちの課題について「自分ごと」として解決策を考えています。

実施方法

参加する住民は、無作為抽出方式を採用しています。

開催事例

- 令和2年度「持続可能な地域交通のあり方」
- 令和3年度「みんなで考える家庭ごみ減量会議」



### ことうら未来会議

～総合計画策定ワークショップ～

内容

令和4年度から始まる「第3次まちづくりビジョン(総合計画)」では、「住みたいまち、住み続けたい琴浦町」を目指し、住民同士のワークショップをとおして、一緒にまちづくりについて考えました。策定においては、鳥取大学にも協力いただき、町民・大学・行政が一緒になって計画案の策定を行いました。

実施方法

町民2,000人宛の無作為抽出アンケートを実施し、その中から申し込みのあった住民にワークショップへ参加いただきました。



## 2 自治体の枠を越えた人材育成

### 有隣塾

内容

- 町の若手・中堅職員を対象に、大学教授、首長経験者、企業人などを講師として招き政策研修を行っています。
- 講演をきっかけに、直面している課題や日ごろ疑問に思っていることの解消、自己啓発へつながることを目的としています。
- 近隣の町にも参加を呼びかけ、自治体を越えた研修の場となっています。



## 3 若手職員プロジェクトチーム

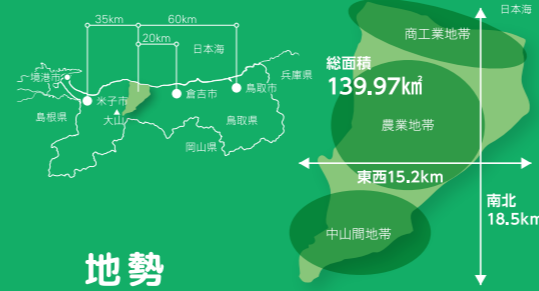
内容

琴浦町のPRを目的に、役場の若手職員で構成されたプロジェクトチームが結成されました。情報発信や町内外の若者とのつながりづくり、イベント企画などのプロジェクトに挑戦しています。



### 町章の由来

琴ノ浦の海岸線と緑の大地を「こと」の文字でまとめ、自然のゆったりした豊かさを表現しています。全国より応募のあった1,206点の中から決定しました。

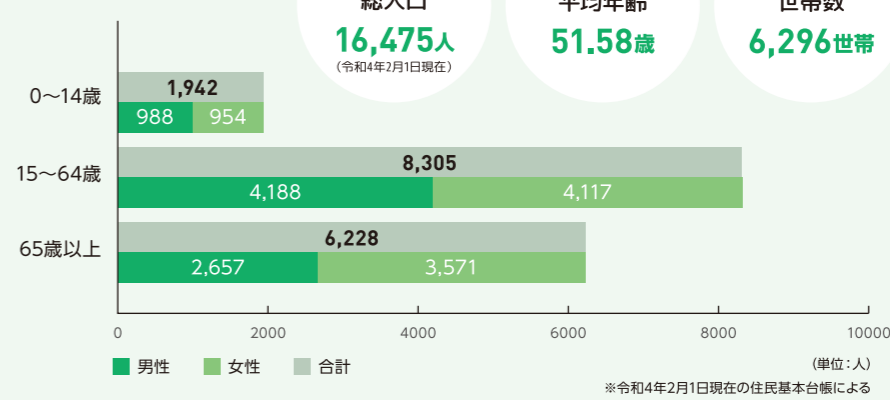


### 地勢

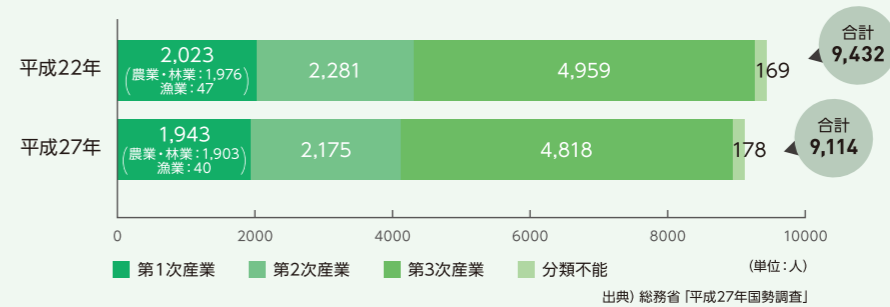
琴浦町は、鳥取県のほぼ中央に位置し、東西15.2km、南北18.5km、総面積139.97km<sup>2</sup>です。南は大山山麓大地と急峻な山地、北に向かうにしたがって緩やかになり、町内を南北に流れる加勢蛇川および勝田川の流域を中心に平野部が広がっています。日本海側は、商工業地帯、中部は県下有数の生産・販売数を誇る農業、南側は大山滝、船上山などで知られる風光明媚な中山間地となっています。丘陵地帯は、普通畑や樹園地として耕作されているほか、山林資源も豊富です。東西に延びる海岸線は、単調ながらも遠浅で岩礁が多く、魚類の生息と海藻の繁茂に適しており、沿岸漁場として県内屈指の水揚げを誇っています。

## 人口

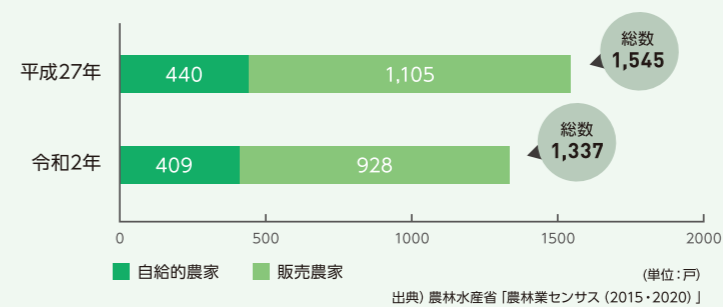
構成比



## 産業別就業者数の推移

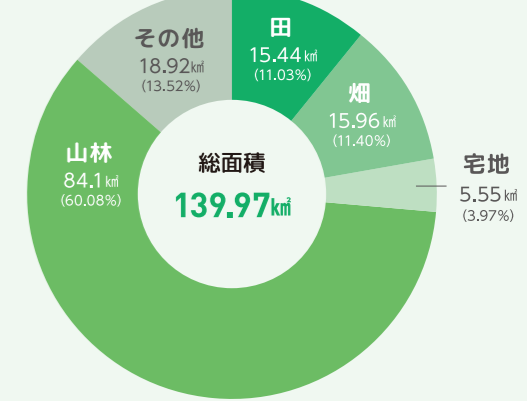


## 農家数



## 面積

土地利用状況 (令和3年)

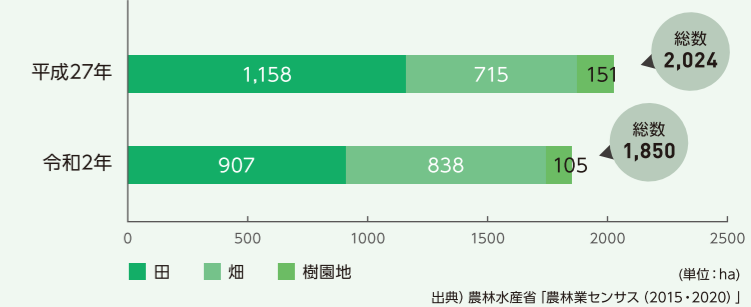


## 漁獲高

年度	漁獲高 (t)	金額 (千円)
令和3年	260	128,835

出典) 赤碓町漁業協同組合「業務報告書」

## 経営耕地面積



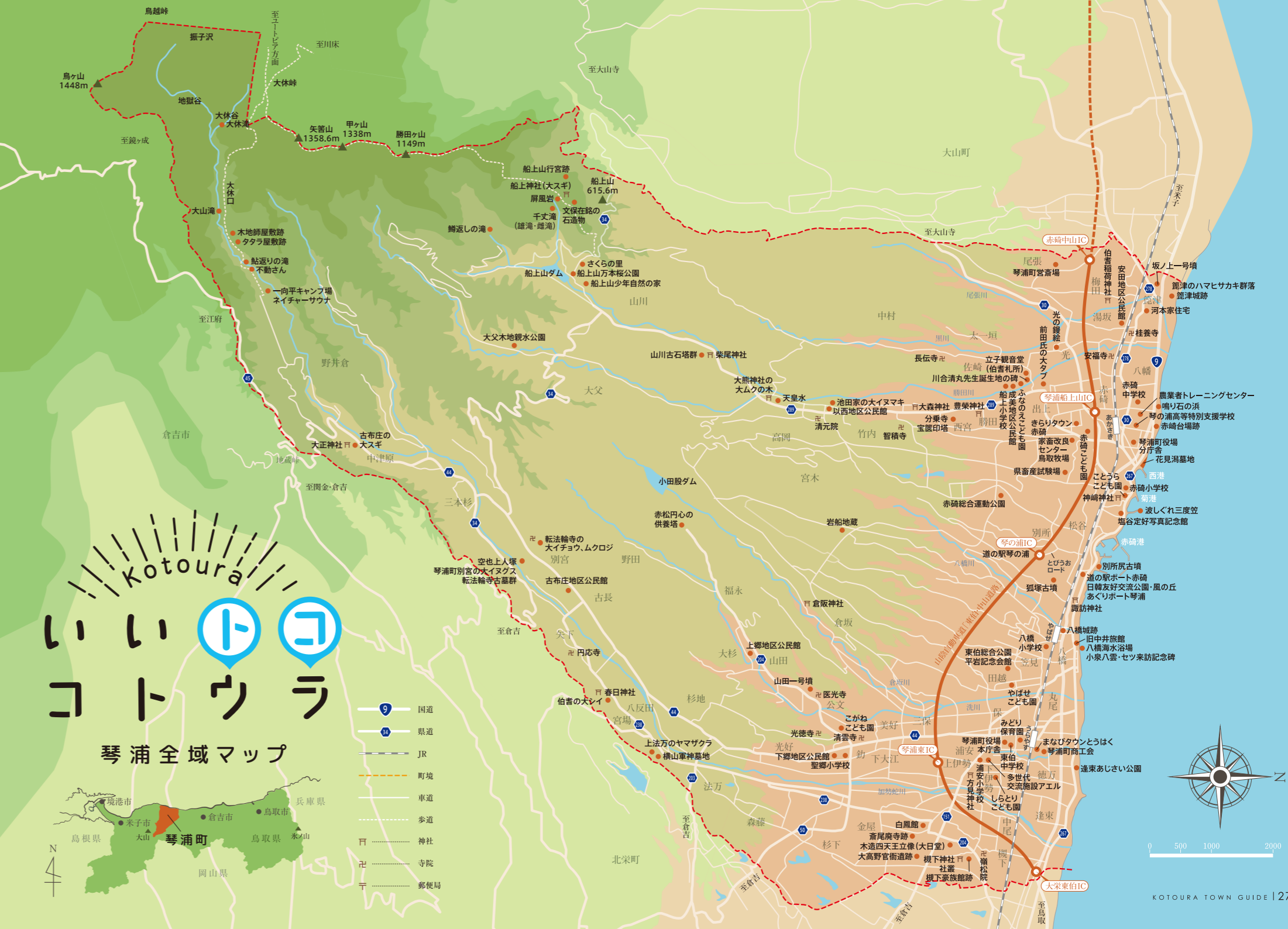
# HISTORY

2004年(平成16年)  
|  
2022年(令和4年)

- '04 9月 旧東伯町と旧赤碕町の合併により琴浦町誕生  
初代町長に米田義人さん(前東伯町長)が無投票で当選  
二十世紀梨生誕100年を記念し天皇・皇后両陛下に梨を献上
- 10月 台風により農作物や農地に甚大な被害  
初代助役に田中満雄さん(前赤碕町長)を選任  
教育長に永田武さんを任命
- 11月 きらりタウン赤碕、全区画で分譲開始
- 12月 琴浦町誕生記念式典開催
- '05 3月 町営斎場増築工事完成
- 4月 町のシンボル制定 町の花「サクラ」、町の木「ブナ」、町の魚「アゴ(トビウオ)」
- 5月 町出身者による交流ネットワーク「琴浦会」設立  
町民憲章の制定  
移動図書館車「まなタン号」町内全域巡回始まる
- 8月 町内路線バス新規路線「琴浦海岸線」「上中村線」開通
- 9月 琴浦町合併1周年記念式典開催。町歌「輝く未来へ」初披露  
第1回ことうら梨健康マラソン大会開催。町内外から約1,000人が参加
- 11月 町議会議員定数を議員協議で20人に削減
- '06 1月 2代目町長に田中満雄さんが無投票で初当選  
町議会議員選挙で20人の議員が誕生
- 2月 町助役に山下一郎さんを選任
- 3月 役場分庁舎が赤碕地域コミュニティセンター内に移転。図書館赤碕分館移転オープン
- 4月 地域包括支援センターを開設  
赤碕地域コミュニティセンター竣工式典開催
- '07 3月 倉坂地区内に農業用ダム「小田股ダム」竣工。これにより昭和54年に始まった東伯地区国営かんがい排水対策事業が完了  
幼保育園竣工
- 4月 民間資本による風力発電施設13基と変電所が本格稼働
- 9月 集中豪雨により尾張、中村集落をはじめ赤碕地域で甚大な被害。1時間あたりの雨量103mmは県の時間雨量記録を更新
- '08 3月 町と琴浦町建設協議会が災害時応援協定を締結
- 4月 町内への定住促進活動や企業誘致などを目的に琴浦町関西事務所を鳥取県西本郡内に開設  
TCCデジタル放送開始
- 9月 町の鳥が「カワセミ」に決まる  
琴浦町空き家情報登録制度「琴浦町空き家ナビ」スタート  
第1回琴浦町保育園・幼稚園のあり方審議会を開催
- 10月 2005年度から建設工事が始まったきらり団地内の町営住宅34戸が完成
- '09 3月 町と鳥取大学が包括協定を締結。地域づくりなどに連携強化
- 4月 琴浦町障がい者地域生活支援センター設置

- 梅田菅峯墳丘墓を太一垣地内に移築復元
- 7月 琴浦町観光大使にジャズギタリストの小沼ようすけさんを任命  
ナチュラルミネラルウォーター「琴浦の水」ペットボトルを製作
- 8月 琴浦町学校給食センター完成
- 9月 琴浦町合併5周年記念式典開催
- 11月 第1回介護予防フェスティバル開催。「琴浦体操」初披露
- 12月 町特産物のイメージアップと販路拡大を目指し、プロの料理人による料理コンテスト「食(ショック)コンテスト」開催
- '10 1月 写真家の故塩谷定好さんに名誉町民の称号を贈る  
3代目町長に山下一郎前副町長が無投票で初当選  
議員定数一人減となって初の琴浦町議会議員選挙を実施。24人が立候補し19人が当選
- 3月 琴浦音頭の歌詞と曲が完成し、CDを作成  
中部1市4町が定住自立圏の形成に関する協定書に調印
- 4月 雇用促進住宅東伯宿舎が雇用能力開発機構から町に移管され、「コーポラスことうら」に
- 6月 副町長に江原修さんを選任
- 8月 全世帯の行政放送受信機を更新
- 9月 転法輪寺が国登録有形文化財に
- 10月 菊港の東堤、西堤が現存する数少ない江戸期の石造防波堤として(社)土木学会選奨土木遺産に認定
- 11月 「全国鏝絵なまこ壁サミットinとっとり2010」開催。全国からの参加者が光集落の町並みを散策  
琴浦町観光大使に韓国のジャズボーカリスト・ウンサンさんを任命
- 12月 河本家住宅が国の重要文化財に指定
- '11 1月 大晦日から元日にかけて、記録的大雪により国道9号線が大渋滞。約1,000台の車が立ち往生
- 2月 山陰道「東伯・中山道路」開通  
花見湯墓地から逢東あじさい公園までの旧国道が国土交通省の「夢街道ルネサンス」に認定
- 3月 東日本大震災の被災地支援のため町民の皆さまから物資提供  
日韓友好交流記念公園「風の丘」が「恋人の聖地」に選定
- 4月 前田祐也さん(向原出身)がJOC全国ジュニアレスリング選手権大会でカデットの部(16・17歳)グレコローマンスタイル69kg級で優勝。同年8月にはハンガリーで開催された世界カデット選手権に日本代表として出場
- 5月 逢東地区内に防災備蓄倉庫完成
- 6月 東日本大震災の被災地、宮城県石巻市へ町内各団体・企業と県が共同で「ゲゲゲの鳥取県応援団」を結成し、炊き出し提供
- 9月 台風12号・15号による大雨で大山滝に大量の土砂が流入。二段滝の景観が損なわれるなど甚大な被害が発生
- 10月 山陰道琴浦パーキングエリア内に「物産館ことうら」オープン
- '12 3月 マンガ「琴浦さん」と町のタイアップ事業開始
- 4月 琴浦町福祉事務所開設  
認定こども園やばせこども園開園
- 7月 川中香緒里さん(竹内出身)がロンドン五輪アーチェリー女子団体に銅メダル獲得。
- 8月 川中香緒里さんに町民栄誉賞第1号を授与
- 10月 上田幸佳さん(上伊勢出身)が第9回世界女子相撲選手権無差別級で優勝  
小林克美さんが教育長に就任

- 12月 東伯中央広域農道「赤松倉坂トンネル」が完成
- 4月 役場本庁舎が移転オープン  
旧赤碕高校跡地に県立琴の浦高等特別支援学校が開校
- 7月 高力裕也さん(大熊出身)がやり投げ選手としてアジア陸上選手権大会に出場
- 9月 琴浦町誕生10周年キックオフイベント「琴浦グルメめぐるウォーク」開催。630人が参加
- '14 4月 副町長に小松弘明さんを選任  
以西・成美・安田小学校と東伯・古布庄小学校がそれぞれ統合し、新たに「船上小学校」と「聖郷小学校」が開校  
逢東保育園と浦安保育園が統合され、認定こども園「しらとりこども園」が開園
- 塩谷定好写真記念館オープン  
カウベルホールにて琴浦町誕生10周年記念式典を開催
- 9月 大高野官街遺跡が国史跡に指定
- 10月 多世代交流施設が開設。愛称が「すこやか交流館「アエル」」に決定
- 2月 第34回全農肉牛枝肉共助会で琴浦町の和牛が日本一に
- 3月 赤碕台場跡が国の史跡鳥取藩台場跡へ指定
- 4月 県内初コンビニでの証明書交付開始  
以西保育園と成美保育園が統合され、認定こども園「ふなのえこども園」が開園
- 10月 鳥取県中部地震発生。琴浦町では震度5弱を観測
- '17 4月 道の駅琴の浦オープン
- 9月 子育て世代包括支援センター「すくすく」オープン  
琴浦町観光大使としてゴダイゴのミッキー吉野さんを委嘱
- '18 2月 4代目町長に小松弘明前副町長が無投票で初当選  
琴浦町議会議員選挙、17人が立候補し16人が当選  
東伯総合公園「どんぐりひろば」完成
- 4月 副町長に山口秀樹さんを選任
- 9月 台風24号による甚大な被害が発生
- 10月 大人の社会塾「とっとり琴浦熱中小学校」開校
- '19 1月 「しごとプラザ琴浦」役場内にオープン
- 4月 琴の浦に「とびうおロード」が開通
- 10月 田中清治さんが教育長に就任
- 12月 琴浦町観光大使としてPaix²(ペペ)の井勝めぐみさん(駅前通り出身)と北尾真奈美さん(倉吉市出身)の2人を委嘱
- '20 2月 鳥取中央育英高等学校と「地域探究の時間」推進に関する協約を締結
- 10月 町内小中学校に1人1台タブレット端末を導入  
一向平キャンプ場にてフィンランド式サウナの竣工式を開催
- 11月 町の新たなロゴマーク「小さいくせにぜんぶある。惑星コトウラ」をリリース
- 12月 「災害発生時における農地・農業用施設の復旧支援に関する協定」を鳥取県土地改良事業団体連合会と締結
- '21 3月 小学生がデザインしたラッピングバスが完成
- 4月 県内初の新型コロナウイルスワクチン接種を町内高齢者施設で実施
- 5月 東京2020オリンピック聖火リレーで11人のランナーが町内を走る
- 7月 記録的な大雨により、町内で河川の氾濫や道路の破損などの被害
- '22 1月 琴浦町長選挙執行。5代目町長に福本まり子さんが初当選  
琴浦町議会議員選挙執行。18人が立候補し、16人が当選



Kotohira  
い い ト コ  
コ ト ウ ラ

## 琴浦全域マップ